

昭和四年度

農林省
指定水稻新品種育成試験設計

新潟縣農事試驗場



目次

	(一)	試驗要項	一
	(二)	試驗方法	六
	一	耕種梗概	六
	二	各試驗特別耕種法	〇
	三	各試驗栽植標準	二
	四	各試驗操作	三
(三)		試驗計劃	四
	一	試驗計劃要項	四
	二	各試驗設計	六
	(1)	交配用品種選定試驗	六
	(2)	交配操作	二
	(3)	雜種第一代養成	二
	(4)	雜種第二代個體選拔試驗	八
	(5)	雜種第三代系統及個體選拔試驗	五
	(6)	雜種第四代以後系統育成試驗	二
	(7)	未固定系統生產力檢定試驗	四
(四)		特殊試驗	六
	(8)	新品種決定試驗	〇
		附 試驗區略圖	八

一、多肥栽培試験要項
目的 多肥栽培ニ依ル交配用品種選定試験
多肥栽培ヲ行ヒ人工交配用母本ヲ選定セント

二、排水不良栽培ニ依ル交配用品種選定試験
目的 排水不良地ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成セ
ンガ爲メ排水不良栽培ヲ行ヒ人工交配用母本
ヲ選定セントス

三、多肥並ニ排水不良栽培ニ依ル交配用品種選定試験供用
目的 多肥並ニ排水不良栽培ニ依ル交配用品種選定
試験供用品種ノ標準栽培ヲ十シ交配用品種選
定試験トノ比較研究ニ供セントス

四、支配操作
目的 標準栽培多肥栽培及ビ排水不良栽培(地)ニ適スル
優良ナル新品種ヲ育成センガ爲メ選定セル品
種間ノ交配ヲ行ハントス

五、雜種第一代養成
目的 標準栽培多肥栽培及ビ排水不良地ニ適スル優
良ナル新品種ヲ育成センガ爲メ支配ヲ行ヒ
ル雜種第一代植物ヲ養成セントス

六、標準栽培ニ依ル雜種第二代個体選抜試験
目的 標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成セン
ガ爲メ支配ヲ行ヒタル雜種第二代中ヨリ有望
ナル個体ヲ選抜セントス

七、多肥栽培ニ依ル雜種第二代個体選抜試験
目的 多肥栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成セン
ガ爲メ支配ヲ行ヒタル雜種第二代中ヨリ有望
ナル個体ヲ選抜セントス

八、排水不良栽培ニ依ル雜種第二代個体選抜試験
目的 排水不良地ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成セン
ガ爲メ支配ヲ行ヒタル雜種第二代中ヨリ有望
ナル個体ヲ選抜セントス

九、標準栽培ニ依ル雜種第三代系統及個体選抜試験
目的 標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
ナル個体ヲ選抜セントス

新 新
一 二

一〇、多肥栽培
目的 多肥栽培ニ依ル雑種第三代系統及個体選抜試験
セシカ爲メ雑種第三代中ヨリ有望ナル系統及
ビ個体ヲ選抜セントス
カ爲メ雑種第三代中ヨリ有望ナル系統及ビ個
体ヲ選抜セントス
排水不良栽培ニ依ル雑種第三代系統及個体選抜試験
ンガ爲メ雑種第三代中ヨリ有望ナル系統及ビ
個体ヲ選抜セントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス

一一、排水不良栽培
目的 排水不良栽培ニ依ル雑種第三代系統及個体選抜試験
セシカ爲メ雑種第三代中ヨリ有望ナル系統及
ビ個体ヲ選抜セントス
カ爲メ雑種第三代中ヨリ有望ナル系統及ビ個
体ヲ選抜セントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス

一二、標準栽培
目的 標準栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
多肥栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
カ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ固
定ヲ計ラントス

一三、多肥栽培
目的 多肥栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
排水不良栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
ンガ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ固
定ヲ計ラントス

一四、排水不良栽培
目的 排水不良栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ニ
ツキ量調査ヲ行ヒ以テ新品種決定試験ニ供
スベキ

一五、標準栽培
目的 標準栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ニ
ツキ量調査ヲ行ヒ以テ新品種決定試験ニ供
スベキ

一六、多肥栽培
目的 多肥栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ニ
ツキ量調査ヲ行ヒ以テ新品種決定試験ニ供
スベキ

一七、排水不良栽培
目的 排水不良栽培ニ依ル雑種第四代以後系統育成試験
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ノ
固定ヲ計ラントス
地方標準栽培ニ適スル優良ナル新品種ヲ育成
セシカ爲メ選抜セル雑種第四代以後ノ系統ニ
ツキ量調査ヲ行ヒ以テ新品種決定試験ニ供
スベキ

新三

一六

標準栽培
目的

キ系統ヲ選定セントス
 標準栽培ニ依ル新品種決定試験
 依リテ選出セラレタル系統ニツキ収量其他
 實用的特性ヲ調査シ地方標準栽培ニ適スル優
 良ナル新品種ヲ選定シ當該供試支配ニ對スル
 育成試験ヲ完結セントス
 多肥栽培ニ依ル新品種決定試験
 依リ選出セラレタル系統ニツキ収量其他ノ實
 用的特性ヲ調査シ肥料強キ優良ナル新品種
 ヲ選定シ當該供試支配ニ對スル
 結セントス

一九

多肥栽培
目的

多肥栽培ニ依ル新品種決定試験
 依リ選出セラレタル系統ニツキ収量其他ノ實
 用的特性ヲ調査シ肥料強キ優良ナル新品種
 ヲ選定シ當該供試支配ニ對スル
 結セントス

新新
六五

一

耕種試驗
概驗方法

(一) 試驗圃
新潟縣長岡市四郎丸町字沖田及川崎町字干場
 (二) 全面積
二町五畝二十七步
 (三) 前作物
水稻
 (四) 土質
壤質埴土
 (五) 種子
豫措
 (六) 鹽水選比
重一三一但シ株別栽培ノモ
 (七) 種子
ヲ木綿袋ニ入レ五日間清水ニ浸シ時々袋
 (八) 夜間水中ニ浸シ発芽ノ兆アルニ至リ播種用ニ
 (九) 供スルモノトス

(3) 苗代
(1) 耕起

秋季三四寸ノ深サニ耕起シ置キ四月中下旬再
 耕起ヲ十シ土塊ヲ碎ク
 播種數ヲ日前ニ灌水シ町疇ニ代掻ヲナシ短冊形
 二播代ヲ作ルモノトス其形状収量試験ノモノ

(4) 整地

(六) 肥料

八幅四尺株別栽培ノモノ八幅六尺トシ周囲ニ幅一尺ノ溝ヲ設ケ水ノ灌排ニ便シ又播代ノ周田ニハ繩ヲ張リ敷止ラ設クルモトス

肥料名	元肥	追肥	合計	三要素
硫酸安母尼亞	六〇	〇	六〇	一〇
強過燐酸石灰	四〇	〇	四〇	一三
葉灰	二五〇	〇	二五〇	一一
加里	〇	〇	〇	〇

(三) 施肥期

及施肥法
代播前ニ施シ充分攪拌ス

(一) 播種法
(二) 播種量
(三) 播種期

四月二十日ヨリ二十五日迄
坪当浸種後ノ粒ニ合
種子ノ混着ヲ避クル爲メ収量調査ヲナスモノ
ハ播代面ヲ太繩ニテ区割シ各区五寸ノ間隔ヲ
置キ播種シ金網製ノ口一ラヲ用ヒ播種ノ
左ス株別栽培ヲナスモノハ木製ノ播種枠ヲ用
ヒ所要苗數ニ應ジ枠内ノ隔壁ヲ適宜取外シ所
要面積ヲ定メテ区割内ニ播種スルモトス

(四) 管理

播種ニ三日位ハ一寸程ノ浅水ト新ナシ其後温暖
十ル日中ニ八時々數時間午前十時ヨリ午後三
時迄排水シ一夜間及雨天ノ日ニハ稍々深ク水ヲ
注ギ苗ノ一寸以上ニ生長シタル際夜間ニ三四回
排水シ其後ハ常ニ一寸前後ノ水ヲ湛ヘ三日乃
至五日毎ニ排水シ苗代ヲ乾シ以テ苗ノ強剛ニ
生育セシムコトヲ図リ又苗ノ二寸以上ニ伸長シ
タル頃粒止繩ヲ取去リ溝ノ泥土ヲ搔上グ其他
ル稗雜草ノ除去ニ努メ縞苗發生ノ有無等充分ナ
ル觀察ヲナス

(4) 本田

春季融雪後馬耕ヲナシ五月上旬土塊ヲ碎クト

(四) 整地

同時ニ土地ヲ平坦ニス注ギ肥料ヲ施シ精細ニ

(二) 播種期

六月月上旬(苗代日數四十日乃至四十五日)

肥料名	元肥	追肥	合計	三要素
-----	----	----	----	-----

(内) 施肥期

及施肥法
元肥ハ代掻前ニ施シ追肥ハニ番除草ノ際ニ施シ充分ニ攪拌ス

堆肥	大豆粕	硫酸安母尼重	蒸製骨粉	硫酸加里	草灰
20000	12000	10000	5000	15000	10000
20000	12000	10000	5000	15000	10000
20000	12000	10000	5000	15000	10000
空素	燐酸	加里			
2370	2040	2410			

(イ) 除草

(ト) 管理

一番除草	六月二十五日頃	手取
二番除草	七月五日頃	手取
三番除草	七月十五日頃	手取
四番除草	七月二十五日頃	手取

移植後一番除草迄ハ中間ニ水ヲ灌ギ其後ハ毎田除草ノ際及其中間ニ水ヲ灌ギ其後ハ田面ヲ乾シ出穂期ニハ常ニ灌水シ穂終花後ニ

(チ) 收穫乾

(リ) 收穫物

二 各試験

(ハ) 多肥栽培

全ク排水シ田面ノ乾燥ヲ図ル
成熟期ニ刈取り刈後直ニ稲架ニ懸テ約ニ週間乾燥ニ収納ス
乾燥シテ全收穫物ハ一回轉稻扱機ニテ扱納セル一區ノ收穫物ハ一定量ヲ採リ小型動力用冷齒式摺機ニテ乾燥後重量ヲ測定ス
総玄米重量ヲ決定シ葉ハ乾燥後重量ヲ測定ス
特別耕種法ニ於ケル一般耕種梗概ト異ル事項尤ノ各試験ニ於ケル一般耕種梗概ト異ル事項尤ノ如シ
培ニ依ル支配用品種選定試験
施肥量(反当量)

肥料名	元肥	追肥	合計	三要素
大豆粕	30000	x	30000	4710
硫酸安母尼重	40000		40000	3260
	40000		40000	4100

四) 多肥栽培

培ニ依ル育成試験雑種第二個体選抜試験ヨ
 リ新品種決定試験迄ヲ舎ム
 施肥量(反当量)

葉	灰	二〇、〇〇〇	—	—	二〇、〇〇〇		
硫酸加里	—	—	—	—	—	—	—
強過燐酸石灰	—	—	—	—	—	—	—
蒸製骨粉	—	—	—	—	—	—	—
合計		二〇、〇〇〇	—	—	二〇、〇〇〇		

肥料名	元肥	追肥	合計	三要素
堆肥	三〇、〇〇〇	—	三〇、〇〇〇	三九〇
大豆粕	二〇、〇〇〇	—	二〇、〇〇〇	三九六〇
硫酸安母尼重	二〇、〇〇〇	—	四、〇〇〇	加里 四、一〇〇
蒸製骨粉	八〇〇〇	—	八〇〇〇	
強過燐酸石灰	—	—	三、〇〇〇	
硫酸加里	二、五〇〇	—	二、五〇〇	
葉灰	二〇、〇〇〇	—	二〇、〇〇〇	

排水不良栽培ニ依ル試験區
 草以後稲ノ生育ニ伴ヒ灌水ヲ深クシニ番除草

以後ハ六寸以上ニ灌水シ排水セズ
 雑種第一代養成
 播種及其後ノ管理

三) 各試験

栽種第一代並ニ其親種子ハ河砂ヲ入レタル素
 燒鉢ニ播種シ水ヲ入レタル重丹製箱ニ配列シ
 鉢ノ底部ヨリ給水ス而シテ苗ノ二三寸ニ伸長
 セル頃ヨリ稀薄ナル液肥ヲ施シ五六寸ニ成長
 セル時本田ニ移植ス

栽種	畦間×株間	区株数	区畦数	区面積	区制	標準区配置
二本植	七寸五×一尺	—	四	二、五坪	—	—
多肥並ニ排水不良栽培ニ依ル支配用品種選定試験	—	—	—	—	—	—
二本植	七寸五×一尺	九〇	三	一、八七五坪	—	—
雑種第一代養成	—	—	—	—	—	—
一本植	一尺×一尺	—	—	—	—	—
雑種第二個体選抜試験(多肥及排水不良栽培)	—	—	—	—	—	—
一本植	一尺×五寸	—	—	—	—	—

二 各試驗設計
 (1) 支配用品種選定試驗設計概要(昭和四年度)

二年目	一年目			標準品種	試驗年次	熟期	甲区多肥栽培		乙区排水不良栽培		丙区標準栽培		備考											
	早	中	晚				計	早	中	晚	計	早		中	晚	計								
二	七	四	一	二	一	一	二	一	一	二	一	一	二	二	七	四	一	二	一	一	一	四	四	種ヲ置入 供試品種土 種ヲ標準品 種ヲ標準品 種ヲ標準品

試驗名	支配用品種	總計		支配組合	系統	區數	總面積	備考
		第一、二、三代	第四代以後					
未固定 新品種	未固定 新品種	一	六	一	八	二	一町三八畝	外二苗代一及七步 播種区一及七畝 三及五步アリ
新品種決定試驗	新品種決定試驗	一	五	一	七	二	三畝十步	
標準栽培(依ルモノ)	標準栽培(依ルモノ)	一	七	一	八	二	三畝十步	
多肥栽培(依ルモノ)	多肥栽培(依ルモノ)	一	七	一	七	二	三畝十步	
排水不良栽培(依ルモノ)	排水不良栽培(依ルモノ)	一	七	一	七	二	三畝十步	
合計	合計	一	六	一	八	二	一町三八畝	

合計	朱固定系統生產力檢定			合計	雜種第四代以後系統育成試驗			合計
	一 標準栽培(依ルモノ)	二 多肥栽培(依ルモノ)	三 排水不良栽培(依ルモノ)		一 標準栽培(依ルモノ)	二 多肥栽培(依ルモノ)	三 排水不良栽培(依ルモノ)	
四	一	三	三	九	四	七	四	二五
一	二	六	六	七	三	五	一	七
三	八	一	九	八	二	三	四	七
六	二	十	十	三	四	五	一	九
二	一	九	九	三	四	五	一	七
六	二	十	十	三	四	五	一	九
二	一	九	九	三	四	五	一	七
六	二	十	十	三	四	五	一	九

支配用品

品番	品種名	早晩	試驗年數	取寄先(取寄年度)	備考	三年目			供用面積
						計	晚	中	
九六	里不知	全	一年目	山形縣(昭和三年)	乙区供用セズ	六四	四一	二五	一〇
一	早稻二本三	全	全	全	全	七四	四一	二五	一〇
一	小林錦	全	全	全	全	四三	三八	一四	三〇
一	橋田二本三	全	全	全	全	四八	三八	一四	三〇
一	在来小由珍光	早	三年目	當場	甲区供用セズ	八八	六三	二三	三〇
一	銀坊主	晚			標準甲	一〇三	六三	二三	三〇
一	改良愛國	中			標準乙、區供用セズ	一〇三	六三	二三	三〇
一	小田珍光	早			標準丙、區供用セズ	一〇三	六三	二三	三〇
品番	品種名	早晩	試驗年數	取寄先(取寄年度)	備考	計	晚	中	早
合計						六四	四一	二五	一〇

品番	品種名	早晩	試驗年數	取寄先(取寄年度)	備考	三年目			供用面積
						計	晚	中	
九二	新ノ一號	早	二年目	山形縣農試(大正五年)	乙区供用セズ	一四	七	五	一
一	陸羽一三號	全	三年目	秋田縣農試(昭和二年)	全	七四	四一	二五	一〇
九七	京錦三號	全	一年目	全(昭和三年)	全	四三	三八	一四	三〇
九四	京錦一號	全	二年目	全(全)	全	四八	三八	一四	三〇
二	陸羽四二號	全	三年目	秋田縣農試(全)	全	八八	六三	二三	三〇
三	敷島	全	全	山形縣農試(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
四	豐國	全	全	全(全)	甲区供用セズ	一〇三	六三	二三	三〇
五	酒井金子	全	全	全(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
七一	白河一號	全	全	宮城縣農試(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
七二	東郷宮城一號	中	全	全(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
七三	赤見出石一號	全	全	石川縣農試(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
八	中生愛國	全	全	山形縣農試(全)	乙区供用セズ	一〇三	六三	二三	三〇
九	中稻新愛國	全	全	秋田縣農試(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
七八	宮城早生愛國	全	二年目	宮城縣農試(昭和三年)	乙区供用セズ	一〇三	六三	二三	三〇
九五	銀坊主早生	全	一年目	富山縣農試(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇
一一	陸羽二〇號	全	二年目	宮城縣農試(昭和二年)	全	一〇三	六三	二三	三〇
一一	愛國宮城號	全	全	全(全)	全	一〇三	六三	二三	三〇

品種	品種名	早晩	試験年次	取寄先 (取寄年度)	備考
二八	畿内早稻九一	中	三年目	山梨縣農試(昭和三年)	乙区二使用セズ
一	刈羽神種	全	全	當 場	全
五〇	武 藏	全	全	神奈川外農試(昭和二年)	全
四九	武 藏	晚	全	埼玉外農試(全)	乙区二使用セズ
四八	玉ノ井	全	全	全 (全)	乙区二使用セズ
二三	寶玉榜木一号	中	全	榜木外農試(全)	甲区三使用セズ
四六	荒木榜木一号	晚	全	全 (全)	全
一	水野錦	中	全	當 場	全
四三	選二榜木一号	全	全	榜木外農試(昭和二年)	全
七六	信愛一号	全	全	茨城外農試(全)	全
一	白 玉	晚	全	當 場	全
一	新 石 白	全	全	全	全
一	新 二 本	全	全	全	全
一	早生閑取	中	二年目	茨城外農試(昭和三年)	乙区二使用セズ
五六	閑取新三四	全	三年目	群馬外農試(昭和三年)	全
一	銀坊主中生	全	全	當 場	全
一	銀坊主選	晚	全	全	全

九二	中生愛國	全	二年目	兵庫縣農試(昭和三年)	全
一〇	晚稻新愛國	全	三年目	秋田縣農試(昭和三年)	全
一五	愛國石一號	全	全	石川縣農試(全)	乙区二使用セズ
一八	無世愛國(一二)	全	全	三重外農試(全)	全
二三	東京無世愛國	全	全	東京府農試(全)	全
一四	無世愛國四七	全	全	富山縣農試(全)	全
一三	福島愛國五	全	全	福島縣農試(全)	全
七九	宮城晚生愛國	全	二年目	宮城縣農試(昭和三年)	全
一六	榜木愛國三号	全	三年目	榜木縣農試(昭和三年)	全
一七	榜木愛國二号	全	全	全 (全)	乙区二使用セズ
一九	有世愛國六八	全	全	三重縣農試(全)	全
二一	茨城愛國一号	全	全	茨城外農試(全)	全
二二	愛 國	全	全	神奈川外農試(全)	全
二四	東京愛國	全	全	東京府農試(全)	全
一	愛國七〇号	全	全	當 場	全
三元	常 豐	全	全	茨城外農試(昭和三年)	乙区二使用セズ
八一	奥州 二号	全	二年目	鳥取外農試(昭和三年)	全
二六	畿内早稻一五七	全	三年目	長野外農試(昭和三年)	全

(2) 支配操作

計劃概要

耐肥性、多收良質	兩肥性、多收良質、早熟	良質、多收	主要育種目的	兩親 品種數	支配 組合數	備	考
一七	一五	一四	一四	一四	一二	主要育種目的同一	
一七	一五	一四	一四	一四	一二	十ルニ組又ハ以上ノ支配	
一七	一五	一四	一四	一四	一二	組合ニ共通ナル品種ハ	

品種 番號	品種名	早晚	試驗年	取寄先	備
一〇七	道後中稻	晚	一年目	愛媛縣農試昭和三	乙區使用スル
一〇八	中辨	全	全	愛媛縣農試昭和三	全
七四	福井塩田	全	三年目	福井縣農試昭和二年	甲區ニ供用スル
七五	本産	全	全	全	全
三八	白珍子	全	全	全	全
四七	須賀一本	全	全	三重縣農試昭和三	全
五八	世界一	全	全	群馬縣農試昭和三	全
五九	龜治	全	全	神奈川縣農試昭和三	全
九〇	龜治一號	全	二年目	鳥根縣農試昭和三年	全
九一	龜治二號	全	全	全	全

一〇六	道後早稻	全	一年目	愛媛縣農試昭和四年	全
八九	北部二號	全	全	鳥根縣農試昭和三	全
八八	勤業選出	全	全	鳥根縣農試昭和三	全
八六	盤田三號	全	全	靜岡縣農試昭和三	全
八四	江原選	全	全	鳥根縣農試昭和三	全
八七	早大関三號	全	全	鳥根縣農試昭和三	全
八五	丹後中稻一號	全	二年目	京都府農試昭和三年	全
一〇五	× 張	全	一年目	埼玉縣農試昭和四年	全
五七	関取神奈川	全	全	神奈川縣農試昭和三	全
五三	関取三重七二三	全	全	三重縣農試昭和三	全
五五	関取栃木一號	全	全	栃木縣農試昭和三	全
四一	早竹成	全	全	福井縣農試昭和二年	全
三三	改良美濃坊主	全	全	富山縣農試昭和三年	全
三二	銀坊主石一〇	全	全	石川縣農試昭和三	乙區使用スル
三三	銀坊主石一〇	全	全	全	全
三四	茨城銀坊主	全	全	茨城縣農試昭和三	全
三五	群馬銀坊主	全	全	群馬縣農試昭和三	全

耐排水不良性、早熟	四	三	只一回に計上ス、合計ニ
耐排水不良性、良質	九	一〇	若ケル場合モ之ヲ算ス
計	三三	四九	(以下同断)

支配操作供試材料

品種番号	品種名	主要特性	主要育種目的	備考
一〇	森田早稲	良質、多收	良質多收	
一	陸羽一三二号	良質、多收	全	
一	米	良質、多收	全	
一	銀坊主選	強稈多收	全	
一	米	良質多收	全	
一	銀坊主早生	強稈多收	全	
一	改良愛國	強稈多收	全	
九四	京錦一號	良質早熟	全	

品種番号	品種名	主要特性	主要育種目的	備考
一	改良愛國	強稈多收	良質多收	
一	早生米光	良質早熟	全	
一〇四	千葉錦石号	早熟	全	
一	銀坊主中生	強稈多收	全	
一〇四	千葉錦石一號	早熟	全	
九五	銀坊主早生	強稈多收	全	
一	米	良質多收	全	
九九	新関取	短稈良質	全	
一	新石白	良質多收	全	
九九	新関取	短稈良質	全	
九四	新関取	短稈良質	全	
九四	京錦一號	良質早熟	全	
一	刈羽神種	強稈良質	全	
一	早津大場	早熟多收	全	
九五	銀坊主早生	強稈早熟	耐肥性、多收	
一	新四号	良質早熟	良質早熟	

新 新
二二
二四

九五	銀坊主早生	強稈早熟	全
一	新五号	良質早熟	全
九五	銀坊主早生	強稈早熟	全
一	早生米光	良質早熟	全
二	陸羽四二号	強稈早熟	全
一	早生米光	良質早熟	全
一	銀坊主中生	強稈早熟	全
一	早生米光	良質早熟	全
八五	丹後中稻一號	強稈多收	耐肥性、多收良質
一	銀坊主中生	強稈多收	全
八五	丹後中稻一號	強稈多收	全
一	改良愛國	強稈多收	全
八五	丹後中稻一號	強稈多收	全
九三	新八号	良質早熟	全
八五	丹後中稻一號	強稈多收	全
一	早生米光	良質早熟	全
三三	銀坊主石五号	強稈多收	全
一	新四号	良質早熟	全

西	品種番号	品種名	主要特性	主要育種目的	備考
三三	銀坊主石五号	新五号	強稈多收 良質早熟	耐肥性、多收良質	
一	新五号	盤田朝日三號	強稈良質	全	
一	改良愛國	盤田朝日三號	強稈多收	全	
八六	盤田朝日三號	銀坊主甲生	強稈多收	全	
一	銀坊主甲生	早	強稈	全	
八七	早大関	刈羽神種	強稈良質	全	
八七	早大関	強稈	強稈	全	
二六	畿内早稻五号	強稈良質	強稈	全	
八九	北部二號	強稈	強稈	全	
九〇	新関取	短稈良質	強稈	全	
八九	北部二號	強稈	強稈	全	
一	早生米光	良質早熟	強稈	全	
八四	江原選	強稈	強稈	全	
九三	新八号	良質早熟	強稈	全	

新新
二五
二六

③ 雜種第一代養成

主要育種目的	計劃概要		西親	西親	西親	備考
	西親	西親				
主要育種目的	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	昭和四年度					
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考
	品種組合數	個休數	西親	西親	西親	備考

西

親

主要育種目的 備考

新新 二七 二八

八四 江原選

一 陸羽三三號

六四 江原選

改良愛國

一 銀坊主甲生

一 小田珍光

一 銀坊主

一 小田珍光

二六 畿内早稻一五五

一 小田珍光

七四 福井塩田

一 銀坊主中生

七五 本 莊

一 銀坊主中生

三六 白 珍子

一 銀坊主中生

一 銀坊主中生

二六 畿内早稻一五五

強稈

良質早熟

強稈

強稈多收

強稈

早熟多藥性

強稈

早熟多藥性

強稈

早熟多藥性

強稈

多藥性短稈

強稈

多藥性短稈

強稈

多藥性短稈

強稈

強稈良質

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

全

耐排水不良性良質

耐排水不良性早熟

耐排水不良性良質

支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号
全七	全六b	全六a	全七	全六b	全六a	全五b	全五a	新三 支五a
父母	父母	父母	父母	父母	父母	父母	父母	父母
米光(短稈)	米光	米光	米光(短稈)	米光	米光	米光	米光	米光
銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主	銀坊主
強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收	強稈多收
全	全	全	全	全	全	全	全	全
四	二	一	一	一	九	一	一	一
母八一母上共通	母八七母上共通	母八六九母上共通	母八五九母上共通	母八六八母上共通	母八五八母上共通	母八五七母上共通	母八五六母上共通	母八五五母上共通

支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号	支配番 号
全四	全三	全二	新三 支一	支配番 号
父母	父母	父母	父母	父母
陸羽三二號	尾一號	早生米光	銀坊主	銀坊主
強稈良質	強稈良質	強稈良質	強稈多收	強稈多收
全	全	全	全	全
一	一	一	一	一
母	母	母	母	母
二	一	一	一	一
支配番号一冬共通				

雜種第一代養成供試材料 (昭和四年度)

計	耐肥性、多收、良質、早熟	耐肥性、多收、良質	耐排水不良性、多收、早熟	耐排水不良性、多收、良質	良質、多收
七	二	一	二	一	一
四	一	一	一	一	一
七〇	九〇	二〇	五〇	四〇	二七〇
二八	一三四	五	五七	六七	二九〇

(4) 雜種第二代個體選拔試驗計劃概要(昭和四年度)

總計	排水不良栽培	多肥栽培		標準栽培	栽培條件	主要育種目的	總數	F ₂ 個體數	備考
		合計	合計						
15	10	7	3	9	1	5	5220	5	供用面積三畝十步
26	10	16	10	10	8	1	9720	1	供用面積六畝十步
82	20	23	13	26	9	6	6680	6	供用面積七畝十步
180	120	70	60	100	17	12	6680	17	供用面積一及七畝十步

(4) 標準栽培 = 依儿 雜種第二代個選拔試驗供試材料 (昭和四年度)

交配番号	主要育種目的	品種又ハ F ₂		備考
		區別	品種番号及品種名	
新交二	良質多收	標準	一四無芒愛國四七号	九〇
		父母	一石 一號	九〇
		區別	一二	九〇
		品種番号及品種名	改良愛國	六六〇

交配番号	主要育種目的	品種又ハ F ₂		備考
		區別	品種番号及品種名	
新交二	良質多收	標準	一三	七二〇
		父母	一石 一號	九〇
		區別	一二	九〇
		品種番号及品種名	改良愛國	六六〇
全一a	全	標準	一陸羽一三二号	一八〇
		父母	一石 一號	九〇
		區別	一二	九〇
		品種番号及品種名	陸羽一三二号	一八〇
全二a	全	標準	一四一	一〇八〇
		父母	一石 一號	九〇
		區別	一二	九〇
		品種番号及品種名	改良愛國	六六〇

新新
三五
三六

標準支配番号三、上共通

(四) 多肥栽培ニ依ル雜種第二世代個体選抜試驗供試材料
(昭和四年度)

交配番号	主要育種目的	品種	區別	品種番号及品種名	區數	個体數	備考
全三a	全	新交a	F2	銀坊主 陸羽一三二号 改良愛國	1	90	備考
全二a	全	新交a	F2	銀坊主 赤京錦一號 改良愛國	1	90	
全三a	全	新交a	F2	銀坊主 赤京錦一號 改良愛國	1	90	

交配番号	主要育種目的	品種	區別	品種番号及品種名	區數	個体數	備考
全三b	全	新交四	F2	尾ノ尾一號 改良美濃坊主 改良愛國	1	90	備考
全七b	全	新交四	F2	尾ノ尾一號 改良美濃坊主 改良愛國	1	90	
全五	全	新交四	F2	尾ノ尾一號 改良美濃坊主 改良愛國	1	90	

F2	二〇一三	三六〇
----	------	-----

新新
三三
三三

(八)排水不良栽培ニ依ル雜種第二代個体選抜試驗
 供試材料
 (昭和四年度)

全六	全六
耐肥 多收 良質 早熟	
標準父母 F2	標準父母 F2
一、陸羽一三二號 一、無芒愛國 一、小田珍光 一、改良愛國	一、陸羽一三二號 一、無芒愛國 一、小田珍光 一、改良愛國
— — —	— — —
九〇〇 九〇〇 九〇〇 九〇〇	五四〇 九〇〇 九〇〇 九〇〇

新二交六	交配 番号	主要育種目的	品種 又ハ F2	個体數	備 考
耐排水不良多 收良質早熟			區別 品種番号及品種名 F2		
			一、刈羽神種 一、小田珍光 一、銀坊主	九〇〇 九〇〇 九〇〇	
			四六—四八		

新新
四〇三九

新二交〇	交配 番号	主要育種目的	品種 又ハ F2	個体數	備 考
耐排水不良 多收良質			區別 品種番号及品種名 F2		
			一、陸羽一三二號 一、無芒愛國四號 一、銀坊主	九〇〇 九〇〇 九〇〇	
			四九—五一		

(1) 標準栽培 = 依 九 雜種第三代系統及個體選拔試驗
 供試材料

(昭和四年度)

總計	排水不良栽培	多肥栽培		標準栽培	栽培條件	主要育種目的	組合數	F ₃ 系統數	備考
		而肥、多收、良質	而肥、多收、良質、早熟						
	而排水不良、多收、良質	而肥、多收、良質	而肥、多收、良質、早熟						
	計	計							
九	四	七	二	二					
七三五	一五〇	四二五	一六〇	一六〇					
供用面積二反四畝	供用面積一反步	供用面積二反九畝	供用面積二畝五步	供用面積二畝五步					

(5) 雜種第三代系統及個體選拔試驗計劃概要

(昭和四年度)

交配番號	主要育種目的	品種	已別品種番號及品種名	F ₂ 及數個體數	備考
			標準 1 銀坊主	六〇	
			已別品種番號及品種名	九〇	
			1 銀坊主	六〇	

全一五	全一四	全一三	全一八	全一七
全	而排水不良 多收、良質 早熟	全	全	全
父母 1 小田珍光	父母 1 早生二本三	父母 1 杏京錦 1 号	父母 1 無芒愛國四号	父母 1 刈羽神種
而排水不良、多收、良質	而排水不良、多收、良質、早熟	而排水不良、多收、良質	而排水不良、多收、良質、早熟	而排水不良、多收、良質、早熟
六〇	六〇	九〇	九〇	九〇
六〇	九〇	九〇	九〇	九〇
新 四一	新 四二			

(四) 多肥栽培 培二依儿 雜種第三代系統及個體選拔試驗 (昭和四年度)

奧一支	奧一支	交配 番号	主要育種目的	供試品種及系統	備考
全	良質多收 早熟				
標準父母 F3	標準父母 F3	區別	供試品種及系統	區數及系統	
1 陸羽一三二號 1 改良愛國	1 大場早 1 陸羽一三二號 1 石白	品種番号及品種名	及系統	區數及系統	
一區 一區 三區	一區 一區 一區	系統數	系統數	區數及系統	
奧雜一八一九號	奧雜一六一七、 二六號				

奧一支	奧一支	交配 番号	主要育種目的	供試品種及系統	備考
全	良質多收 早熟				
標準父母 F3	標準父母 F3	區別	供試品種及系統	區數及系統	
1 陸羽一三二號 1 改良愛國	1 大場早 1 陸羽一三二號 1 石白	品種番号及品種名	及系統	區數及系統	
一區 一區 六區	一區 一區 一區	系統數	系統數	區數及系統	
奧雜一八一九號	奧雜一六一七、 二六號				

奧一支	新交二	新交一	奧一支	交配 番号	主要育種目的	供試品種及系統	備考
全	全	良質 耐肥、多收	良質、早熟 耐肥、多收				
標準父母 F3	標準父母 F3	標準父母 F3	標準父母 F3	區別	供試品種及系統	區數及系統	
1 陸羽一三二號 1 改良愛國	1 愛國二八號 1 改良愛國	1 新二本 1 西無芒愛國四號 1 改良愛國	1 奧羽二號 1 萬石二號 1 改良愛國	品種番号及品種名	及系統	區數及系統	
一區 一區 三區	一區 一區 七區	一區 一區 一區	一區 一區 一區	系統數	系統數	區數及系統	
奧雜一八一九號			奧雜一四二五、 三五號				

(6) 雜種第四代以後系統育成試驗
計劃概要

多肥栽培	標準栽培		栽培條件
	第四代	第五代	世代
	合計		交配組合數
	七	四	系統數
六三	三四	二一	當該世數
二七〇	一四五	一〇五	備考
	供用面積 四畝二十步		

(昭和四年度)

支配番號	支配番號	支配番號
奧一交	新二交	新二交
全	多收良質 耐排水不良	多收良質 耐排水不良
F3 標準	F3 標準	F3 標準
父母	父母	父母
陸羽二〇號	愛國二八號	愛國二八號
銀坊主	銀坊主	銀坊主
二〇系	七五系	八〇系
備	備	備
考	考	考

支配番號	支配番號	支配番號
新二交	新二交	新二交
多收良質 耐排水不良	多收良質 耐排水不良	多收良質 耐排水不良
F3 標準	F3 標準	F3 標準
父母	父母	父母
無芒愛國四號	新二本	新二本
銀坊主	銀坊主	銀坊主
五五系	六〇系	一〇系
備	備	備
考	考	考

(以) 排水不良栽培ニ依ル雜種第三代系統及個體選抜試驗
供試材料

支配番號	支配番號	支配番號
鴻一交	鴻一交	鴻一交
全	全	全
F3 標準	F3 標準	F3 標準
父母	父母	父母
改良愛國	改良愛國	改良愛國
三〇系	三〇系	三〇系
備	備	備
考	考	考

新新
四五
四六

多肥栽培ニ依ル雜種第四代以後系統育成試驗
 供試材料
 (昭和四年度)

全	全	奧三支	支配番号	世代
全	全	第五代	支配番号	世代
標準父母	標準父母	標準父母	區別	供試品種及系統
系石陸萬	系石酒井金子	系石陸羽一三二號	品種番号及品種名	系統數
統群白	統群白	統群白	系統數	系統數
九	六	六	系統數	系統數
四五系	三〇系	三〇系	系統數	系統數
			備	考

新 四七
 新 四八

標準栽培ニ依ル雜種第四代以後系統育成試驗
 供試材料
 (昭和四年度)

全	鴻西支	支配番号	世代
全	第五代	支配番号	世代
標準父母	標準父母	區別	供試品種及系統
系石選上	系石保行	品種番号及品種名	系統數
統群白	統群白	系統數	系統數
四	九	系統數	系統數
四五系	二五系	系統數	系統數
		備	考

總計	排水不良栽培	合計	第五代
一五	四	一〇	三
一六〇	五一	七五	一三
七一〇	二三〇	三三五	六五
供用面積ニ及八畝十步	供用面積一及二畝十步	供用面積一及二畝十步	

系統部トハ前年系統選
 拔ニヨリシモノニテ姉妹系統
 三以上ノモノヲ云ヒ、四單獨系
 統トハ前年個體選拔ニ
 ヲリシモノ及姉妹系統ニ以
 下ノモノヲ云フ

全	全	鴻西交	奧四交	支配 号配
全	全	全	第四代	世代
F4 標準父母	F4 標準父母	F4 標準父母	F4 標準父母	區別
系統改良愛國群	系統改良愛國群	系統改良愛國群	系統改良愛國群	供試品種及系統
一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	品種番号及品種名
二五系	一〇系	八三〇系	二〇一〇〇系	系統數
一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	系統數
				備考

新新
五四元

全	鴻三交	全	鴻西交	支配 号配
全	第五代	全	全	世代
F5 標準父母	F5 標準父母	F4 標準父母	F4 標準父母	區別
系統改良愛國群	系統改良愛國群	系統改良愛國群	系統改良愛國群	供試品種及系統
一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	品種番号及品種名
二一〇系	六三〇系	五二五系	一四三系	系統數
一 一 一	一 一 一	一 一 一	一 一 一	系統數
				備考

鴻西支	全	奧西支	支配	番号
全	全	第四代	世代	
F4 標準父母	F4 標準父母	F4 標準父母	區別	供試品種及系統
單系統 銀坊 愛國 蘭國 取計	合單系統 銀坊 陸羽二〇號 信州金子	合單系統 銀坊 早稻大野 信州金子	合計	系統數
四八 一四 一五	一五 八二 七三 三三 一一 一一	一〇 五〇 四一 一一	一四 六五	系統數
				備考

鴻西支	支配	番号
第四代	世代	
F4 標準父母	區別	供試品種及系統
單系統 銀坊 石坊 陸羽二〇號	品種番号及品種名	系統數
一三 一五 一〇	一三 一五 一〇	一四 六五
		備考

排水不良栽培ニ依ル雜種第四代以後系統育成試驗 (昭和四年度)

鴻西支	奧三支
第四代	全
F4 標準父母	F5 標準父母
單系統 改良愛國 石坊 陸羽二〇號	新 陸羽一三二號 改良愛國 系統群
九 三五 三一 一四	五 二五 一一 一一

新 五 五 二

(7) 未固定系統生產力檢定試驗

計劃概要

(昭和四年度)

栽培條件	試驗年次		世代	組合數	系統數	區制	備	考
	第一年目	第二年目						
多肥栽培	合計	第一年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步	
			第七代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步	
			第七代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步	
			第七代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步	
			第七代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步	
			第七代	一	一	一		
第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步		
		第七代	一	一	一			
第一年目	第二年目	第六代	一	一	一	供用面積一及步		
		第七代	一	一	一			
合計	合計	合計	第六代	二	二	二	供用面積一及步	

合計 一二四三系

新新 五三 五四

(6) 標準栽培ニ依ル未固定系統生產力檢定試驗 (昭和四年度)

供試材料

栽培條件	試驗年次		世代	組合數	系統數	區制	備	考
	第一年目	第二年目						
排水不良栽培	合計	第一年目	第五代	三	一	一	供用面積一及四畝步	
			第六代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步	
			第六代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步	
			第六代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步	
			第六代	一	一	一		
	第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步	
			第六代	一	一	一		
第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步		
		第六代	一	一	一			
第一年目	第二年目	第五代	一	一	一	供用面積一及四畝步		
		第六代	一	一	一			
合計	合計	合計	第五代	二	二	二	供用面積一及四畝步	

試驗年次	區別	供試品種		區數又系統	備	考
		品種番号及品種名	又ハ系統			
第二年目	標準	一石	白	一二已	一已	

(A) 排水不良栽培ニ依ル米固定系統生産力檢定試験
 供試材料 (昭和四年度)

試驗年次	供試品種及系統	品種番号	品種名	系統數	系統又數	備考
第三年目	標準甲	1	銀坊主	1	5區	備考
	標準乙	1	小田珍光	6	6區	
第二年目	比較用	1	早稻大野	1	1區	
		1	四千葉錦石一號	1	1區	
		1	九三新 1 號	1	1區	
		1	九七京錦三號	1	1區	
第一年目	全	1	水野錦	1	1區	
	全	1	新二本	1	1區	
	奧系 F5	陸羽三三號 × 酒井金子	萬才 × 陸羽三三號	8	8區	
	奧系 F5	二十日早稻 × 陸羽三三號	白河五號 × 二十日早稻	2	2區	
	鴻系 F6	竹成 × 荒木		1	1區	

新 五七
 新 五八

試驗年次	供試品種及系統	品種番号	品種名	系統數	系統又數	備考
第二年目	奧系 F6	陸羽三三號 × 白河五號	選 1 × 竹成	5	5區	備考
	鴻系 F6	森田早稻 × 早稻大野	東御 III × 陸羽二二號	4	4區	
	奧系 F7	陸羽二二號 × 酒井金子	陸羽二二號 × 森田早稻	6	6區	
	奧系 F8	陸羽二二號 × 陸羽三三號	陸羽二二號 × 陸羽三三號	2	2區	
	奧系 F8	陸羽二二號 × 森田早稻	陸羽二二號 × 陸羽三三號	2	2區	
	奧系 F8	陸羽二二號 × 陸羽三三號	陸羽二二號 × 陸羽三三號	1	1區	
	鴻系 F10	晚三三號 × 大場早	陸羽一三五號 × 陸羽四二號	3	3區	
第三年目	奧系 F8	陸羽一三五號 × 陸羽四二號		5	5區	

(8) 新品種決定試驗 計劃概要 (昭和四年度)

栽培條件	試驗年次	世代	組合數	系統數	區制	備考
標準栽培	1	第八代	3	6	2	供用面積三畝十步
多肥栽培	1	全	1	6	2	供用面積三畝十步
總計			4	12		供用面積六畝十步

(3) 標準栽培 = 依ル新品種決定試験

供試材料	試験年次	第一年目	区別	供試品種	又ハ系統
			標準	品種番号 品種名	
供試材料	試験年次	第一年目	比較用	九三新	一 号
			全	一 龜ノ尾一 号	
供試材料	試験年次	第一年目	奥羽F ₈	陸羽二六号 × 森早稻	三 系
			奥羽F ₈	陸羽二六号 × 酒井金号	
供試材料	試験年次	第一年目	奥羽F ₈	陸羽二六号 × 陸羽一三三号	一 系
			奥羽F ₈	陸羽二六号 × 陸羽一三三号	

(昭和四年度)

(4) 多肥栽培 = 依ル新品種決定試験

供試材料	試験年次	第一年目	区別	供試品種	又ハ系統
			標準甲	品種番号 品種名	
供試材料	試験年次	第一年目	標準乙	一 改良愛國	二 区
			比較用	七京錦三 号	
供試材料	試験年次	第一年目	奥羽F ₈	陸羽二六号 × 陸羽一三三号	一 区
			奥羽F ₈	陸羽二六号 × 陸羽一三三号	

(昭和四年度)

(四) 特殊試験

育成系統 稻熱病抵抗力 検定試験
 新品種育成試験 及 朱固定系統 生産力 検定試験
 供試セル育成系統ノ 稻熱病ニ 対スル 耐病性
 強弱ヲ 検定セントス

(1) 試験方法 = 依ル方法

植木鉢ニ 播種セル 苗ヲ 重丹製ノ 箱ヲ 以テ 一定
 時間日光ヲ 遮断シ 稻熱病 發生ノ 誘因ヲ 作リ 発
 病セルシメ 其ノ 罹病程度ニ 依リ 耐病性ヲ 検定ス

(2) 接種 = 依ル方法

病セルシメ 其ノ 罹病程度ニ 依リ 耐病性ヲ 検定ス

第一年目	試験年次	奥羽F ₈	東郷III × 陸羽二六号	大系	備考
		区別	品種番号 品種名	系統又ハ系統数	

新 大。

供試材料

植木鉢ニ播種セル苗ニ稻熱病菌ヲ接種シ其罹
病程度ニ依リ耐病性ヲ檢定ス

供試	品種	系統	備考
標準	銀坊主	—	
全	陸羽二〇号	—	
全	改良愛國	—	
全	新イ号	—	
全	刈羽神種	—	
奧羽F8	東郷Ⅲ×陸羽二号	七系	
全	陸羽三五号×陸羽四二号	五系	
全	陸羽二六号×森田早稻	五系	
全	陸羽二六号×酒井金子	二系	
全	陸羽二六号×陸羽三三号	二系	
奧系F7	森田早稻×細稈坊主	二系	
鴻系F10	晚三三号×大場早	三系	

新六一
新六二

供試	品種	系統	備考
鴻系F11	愛國×國富	一系	
鴻系F8	無芒愛國×早稻神力	一系	
奧系F9	森田早稻×早稻大野	六系	
奧系F6	陸羽三三号×白河五号	五系	
鴻系F6	選一×竹成	四系	
奧系F7	森田早稻×陸羽三三号	一一系	
奧系F5	陸羽三三号×陸羽四二号	七系	
全	陸羽三三号×酒井金子	九系	
全	萬才×陸羽三三号	六系	
鴻系F5	早稻神力×愛國	二系	
鴻系F6	上州×愛國	七系	
奧系F5	陸羽三三号×酒井金子	八系	
全	萬才×陸羽三三号	八系	
全	二白早稻×陸羽三三号	二系	
奧系F6	白河五号×二白早稻	二系	
鴻系F7	竹成×荒木	一系	

合計

110

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

...

試驗區略圖——其一



